

## 中国太陽光発電市場と産業の展望（第一部）

2009 年に入ると中国政府は相次いで太陽光発電に対する補助促進政策を打ち出し、同年 12 月に 2020 年までに国内太陽光発電の導入目標を 20GW に上方修正することを明らかにした。国内太陽光発電市場の開拓、関連産業の発展に対して前向きに検討している一方、中国政府は自国産業における技術力不足や投資過熱などの課題を認識し、慎重な姿勢も示している。

本報告の第一部では中国太陽光発電の市場と促進政策を中心に、中国の太陽光発電事業を概観した。

まず中国の実情に踏まえ、中国における太陽光発電市場の現状と計画をタイプ別に概観した：農村電化、建築物一体型太陽光発電、メガソーラー、その他応用。

次に、再生可能エネルギー法と再生可能エネルギー発電の買取制度を中心に中国政府が打ち出した太陽光発電に関連する政策とともにこの太陽光発電産業への影響を簡単に紹介した。

最後に、中国における太陽光発電の普及について三つの緊急課題を要約した：①買取制度の明確化、②持続発展可能な太陽光発電産業を育成するための技術力の向上、③さらにそのための計画。

お問い合わせ：[report@tky.ieej.or.jp](mailto:report@tky.ieej.or.jp)